

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	37567
事業名	ひきこもり対策推進費					
評価担当課	所 属	保)障がい保健 精神保健福祉セ			電話番号	011-622-5190
施策名	年齢・性別・障がいの有無・国籍・民族・宗教・文化などの違いを					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	ひきこもりの長期化、高齢化が進んでおり、8050問題(80代の親が50代のひきこもりの子を支える状況)が深刻化している。平成31年実施の実態調査によると、札幌市では約2万人が広義のひきこもり状態にあると推定された。何らかの支援が必要な潜在的なひきこもり状態にある方は非常に多いと認識しており、継続的な支援に繋ぐ必要があるが、問題が多分野にまたがり複雑であるため難しい。
	事業内容(何を実施し)	ひきこもりに特化した専門相談窓口としての機能を有する「ひきこもり地域支援センター」を設置し、ひきこもり本人やその家族等、誰もが安心して相談できる環境を整備するとともに、ひきこもり本人やその家族等が定期的な情報交換及び相談員からの支援を受けられるよう、集団型支援拠点「よりどころ」を定期開催する。
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	ひきこもり支援を推進するための相談支援体制を整備するとともに、ひきこもり本人の社会参加を促進し、本人やその家族の福祉の増進を図る。
	他都市の状況	全ての都道府県及び政令市において設置済。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外

令和4年度決算額	18,800 千円	うち特定財源	9,499 千円	正規職員業務量	0.6 人工
令和5年度予算額	19,000 千円	うち特定財源	9,500 千円	正規職員業務量	0.6 人工
令和5年度決算額	18,500 千円	うち特定財源	9,499 千円	正規職員業務量	0.6 人工
令和6年度予算額	24,000 千円	うち特定財源	12,000 千円	正規職員業務量	0.6 人工

指標	アウトプット活動指標1	ひきこもり地域支援センターにおける相談件数				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		3,026件	2500	2673	2700	2700	2700
	↓						
	アウトカム成果指標1					という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	相談件数については年々増加傾向にあったが、令和5年度については令和4年度と比べて減少している。潜在的なひきこもり状態にある方を支援につなげることや、長期的な支援が必要となりその間を継続して支援できる機関も多くはないため、ひきこもり地域支援センターにおける継続支援にも重点を置いて考えていく					
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	各区や関係機関との連携強化のため、相談員1名を増員
来年度以降の方向性	令和7年度に、ひきこもりに関する実態調査を予定しており、その結果をもとに支援体制を充実させていく